

参加費
無料

コミュニケーション・フォーラム

地域白熱教室

～ファシリテーターはパシリテーター！？～



いま、地域を元気にしようと活動している人が増えています。例えば、害獣である野生鳥獣を利活用してブランド食品として売り出そうとする地域のひとがいれば、それをサポートする行政や企業、NPOもあります。また、普段の農作業や地域おこし活動を支援するために地域を訪れる都市の学生などもあります。そしていろいろな人が地域に関わる時、これらの人たちのあいだで話し合いを潤滑に進めて、みんなが納得できる合意を作るための存在として、**ファシリテーター**が注目を浴びています。しかし、ファシリテーターを職業とするひとがどこでもいるわけではありません。今回のコミュニケーション・フォーラムでは、環境コンサルタントとして地域に入って仕事をするなかで、ファシリテーター(あるいはパシリテーター?)として四苦八苦されている方をお呼びします。そして、その体験談を聞くだけでなく、実際にロールプレイングをすることで、参加者全員でファシリテーターについての知識や役割について議論をしたいと思っています。ファシリテーターという言葉を知っているかどうかに関わらず、今まさに仕事や大学に実習などで地域に関わっている人たちと一緒に、地域での活動の進め方について議論しませんか?

地域で活動・研究している人、農山村に興味がある人、野生生物に興味がある人、お待ちしております。
「地域白熱教室」によるこそ。

*日時: **2014年1月13日(月・祝) 13時～17時**

*会場: **立命館大学衣笠キャンパス 学而館2階の第2研究室**
京都市北区等持院北町56-1 京都駅よりバスで約35分 http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html

*プログラム

◆講師: 株式会社環境アセスメントセンター **関岡裕明氏**

- ①趣旨説明
- ②講演(関岡氏)

「多様な主体による協働」の現場から。～意見のはざまで、私の場合。～」

- ③ロールプレイング

case1.ジビエの振興について

case2.集落を囲う恒久金網柵の設置について

- ④感想、講師によるコメント

*主な対象: 地域で研究・活動しているor活動に興味がある学生、一般 定員: 20名

*申込み・問い合わせ先

「野生生物と社会」学会 青年部会幹事 swhs.youth@gmail.com

参加希望者は、氏名・所属・学会員or非会員を明記のうえ、上述のメールアドレスにご連絡ください。

申込み締切 **2014年1月6日(月)**

【略歴】

株式会社環境アセスメントセンター敦賀事務所所長。大阪産業大学人間環境学部生活環境学科非常勤講師。環境省委嘱希少野生動植物種保存推進員。共著に『自然再生』(ソフトサイエンス社)、『生物多様性緑化ハンドブック』(地人書館)ほか。主に、関西・北陸地方で環境コンサルタントとして地域に入り、里山保全活動のコーディネーターや自然再生計画の立案に関わっている。



JR: 近鉄京都駅から

- ◆市バス50(京都駅B2のりば)快速205⇒立命館大学前(終点)
- ◆市バス205(京都駅B3のりば)⇒衣笠校前→徒歩10分
- ◆JRバス高雄・京北線(京都駅JR3番のりば)⇒立命館大学前

主催: 「野生生物と社会」学会 青年部会